

SE(システムエンジニア)の仕事って プログラマとどうちがうの？

2019年10月12日
21回生

腰原 貞利

自己紹介

- ・1975年 静岡大学工学部精密工学科卒業
富士通入社
TSS事業部配属（現在のクラウド事業）、オペレーター、センター運用管理
- ・1982年～富士通エフ・アイ・ピー転社。S Eとしてシステム開発、運用、保守を経験
－漁船の損害保険システム開発・運用・保守他
- ・1989年～ソフトウェア開発の共通技術の社内普及、生産性・品質向上推進
ISO9001品質マネジメントシステム構築、認証取得、フォローアップ
全社のトラブルプロジェクト支援対応、火消し等
- ・1998年～再び、開発部門へ
金融（銀行、クレジット）、キャリア(携帯、通信)等の大規模システムの
プロジェクトマネジメント及び複数部署の組織運営を経験
- ・2010年～富士通エフ・アイ・ピー・システムズ 社長
- ・2016年～中央情報専門学校で年数回、特別講義を担当

今日お話すること（目次）

■ S E の仕事とは、プログラマとのちがいは

- ・システム開発とは
- ・S E の仕事とは
- ・プログラマとのちがいは

■ プロジェクトマネジメントとは

- ・何故、プロジェクトマネジメントが必要か
- ・プロジェクトマネジメントとは
- ・トラブル事例と解決方法、成功事例

■ 社会人として仕事を続けていく上で大切なこと

- ・SEに求められるものとは
- ・社会人として仕事をしていく上で大切だと思っていること

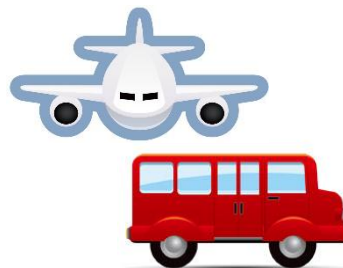
■ 最後に、アメリカ大陸放浪の旅のお話を少し

- ・何故、休学してアメリカへ
- ・この目で見たアメリカ、カナダ、メキシコとは
- ・放浪の旅を通して感じたこと

我々を取り巻く ITシステム



銀行、証券、生保、
損保、クレジット、



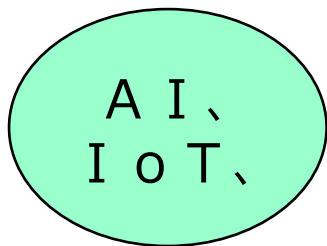
鉄道、航空、通信、
電力、ガス、



コンビニ、スーパー、
百貨店、家電量販店



官公庁、自治体、
大学、病院、



ITはあらゆる分野で使われており、
社会の基盤となっている！



IT: Information Technology

業務システム

- 会社の人事、経理、給与、
- 銀行オンライン、受発注、
- 在庫管理、顧客管理、

今回お話しするのは、
このシステムのこと

組み込み型システム

- 情報家電、携帯機器、自動車、産業機器、

ロボット、ゲーム...

個別システム開発

個別システム開発は大半がオーダーメイド

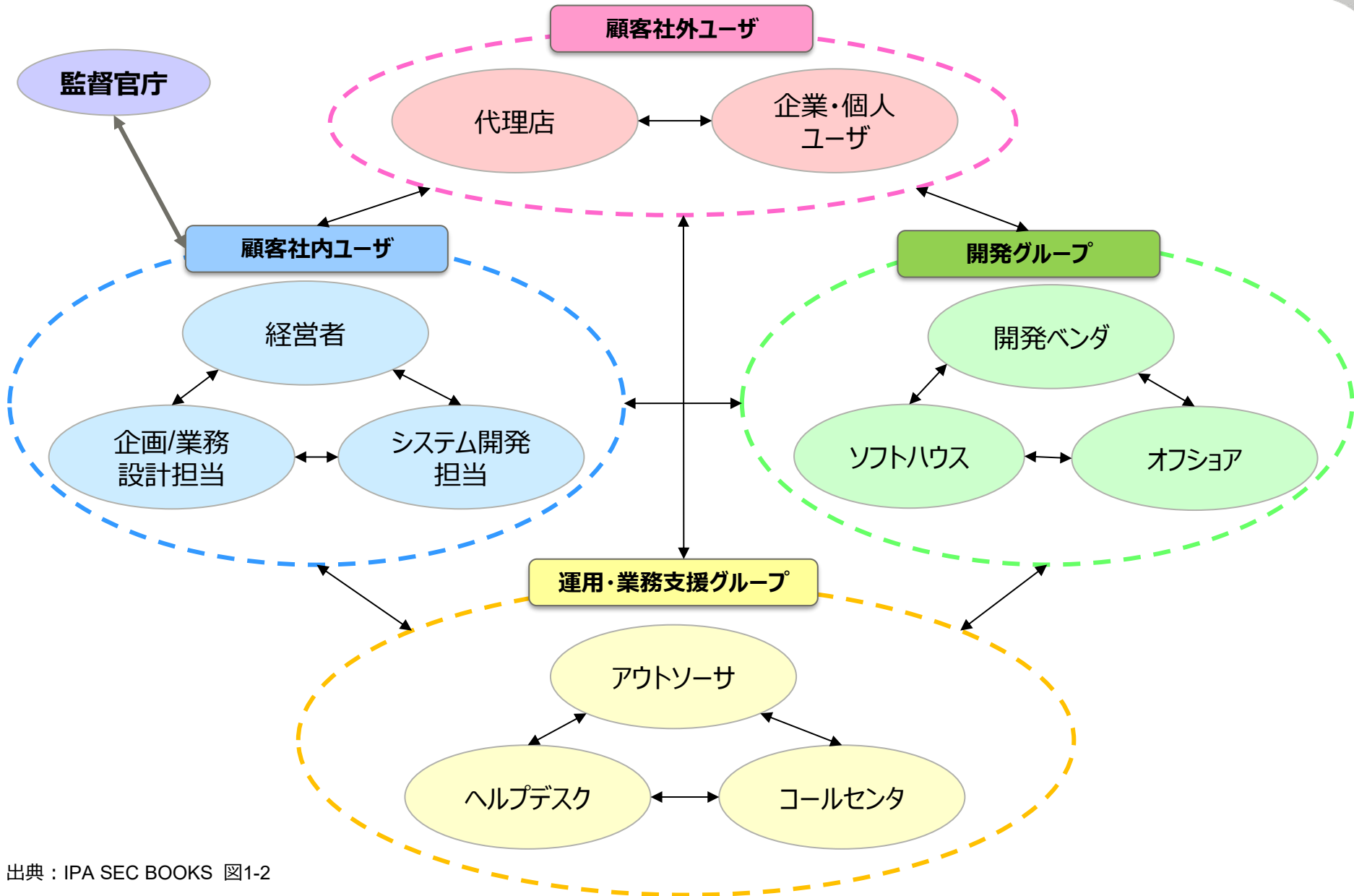
パッケージを適用した開発

- **ほぼ一発勝負！**
- **同じメンバー、同じ仕様、同じ環境、同じ手順で開発することは殆どない！**

一方、大量生産する場合は

- **試作品を作り、何度もテストを繰り返し行う**
- **自動化、ラインなどの設備投資が大前提！**

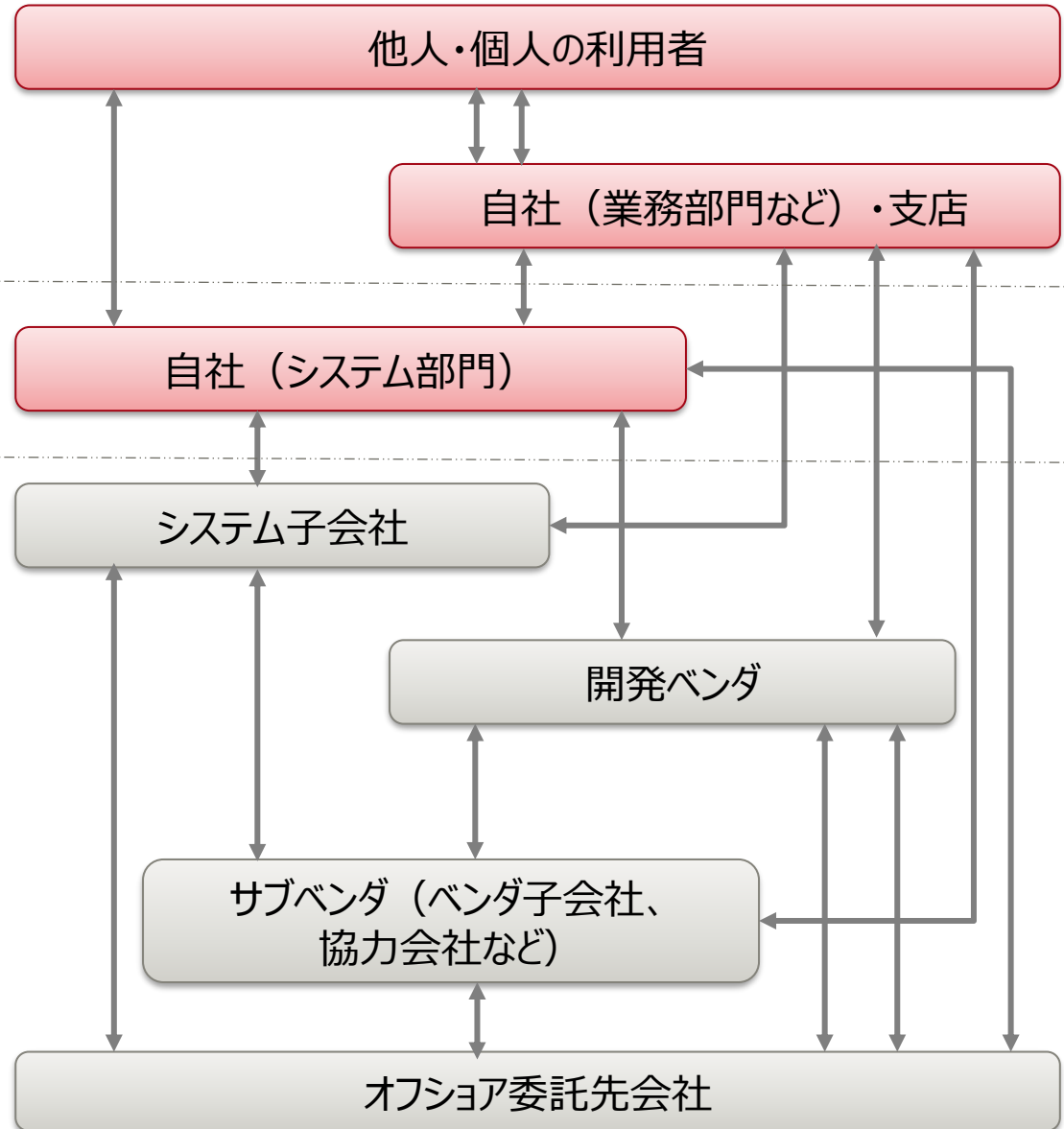
コミュニケーションチャネルの複雑さ



出典：IPA SEC BOOKS 図1-2

取引構造から見た関係者の位置付け

システムの利用、ヘルプデスク、
コールセンタ、アウトソーサ



システムの構築・運用

システムの開発・基盤の提供

要件定義

システム設計

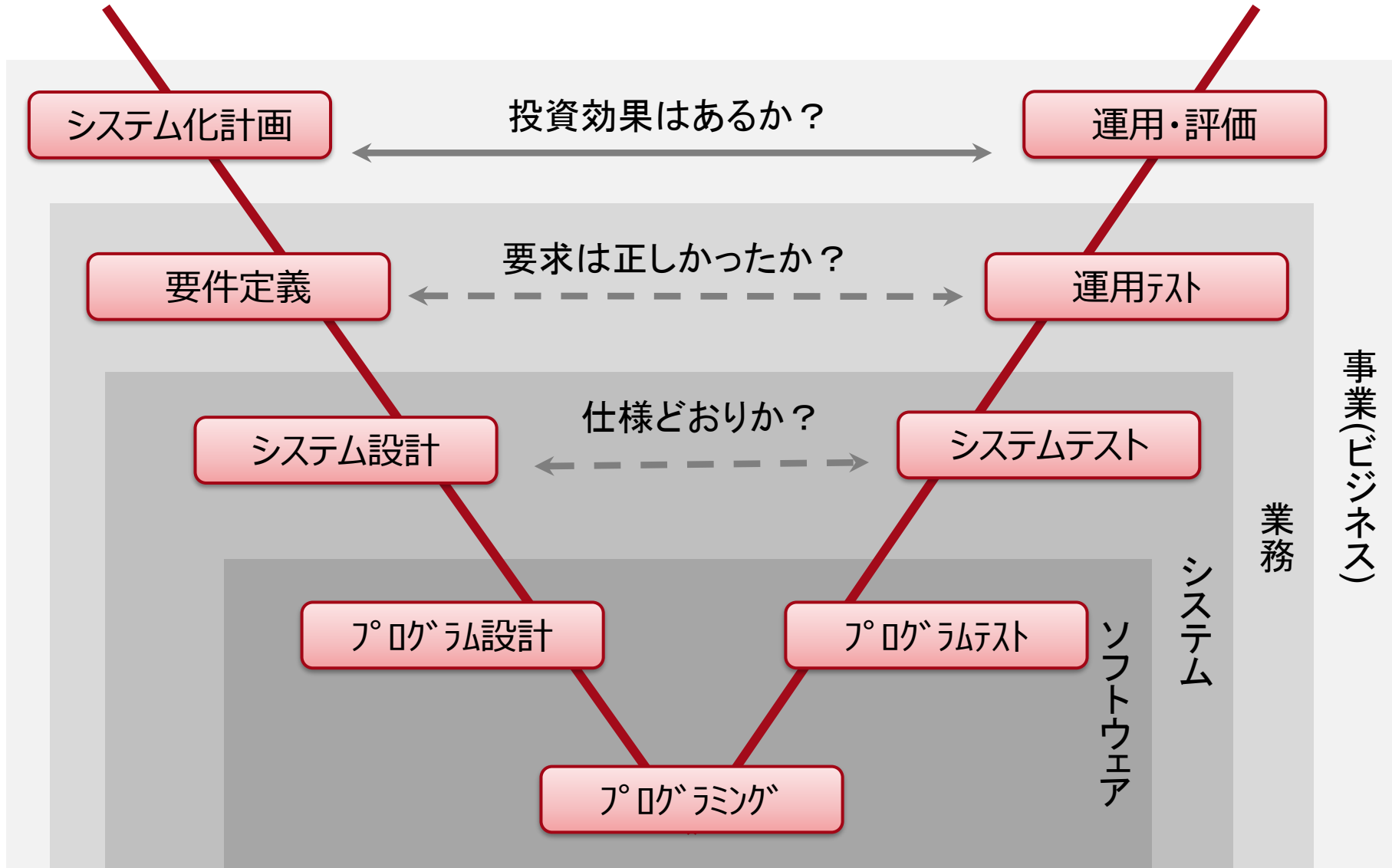
プログラミング
プログラム設計

テスト

運用・保守

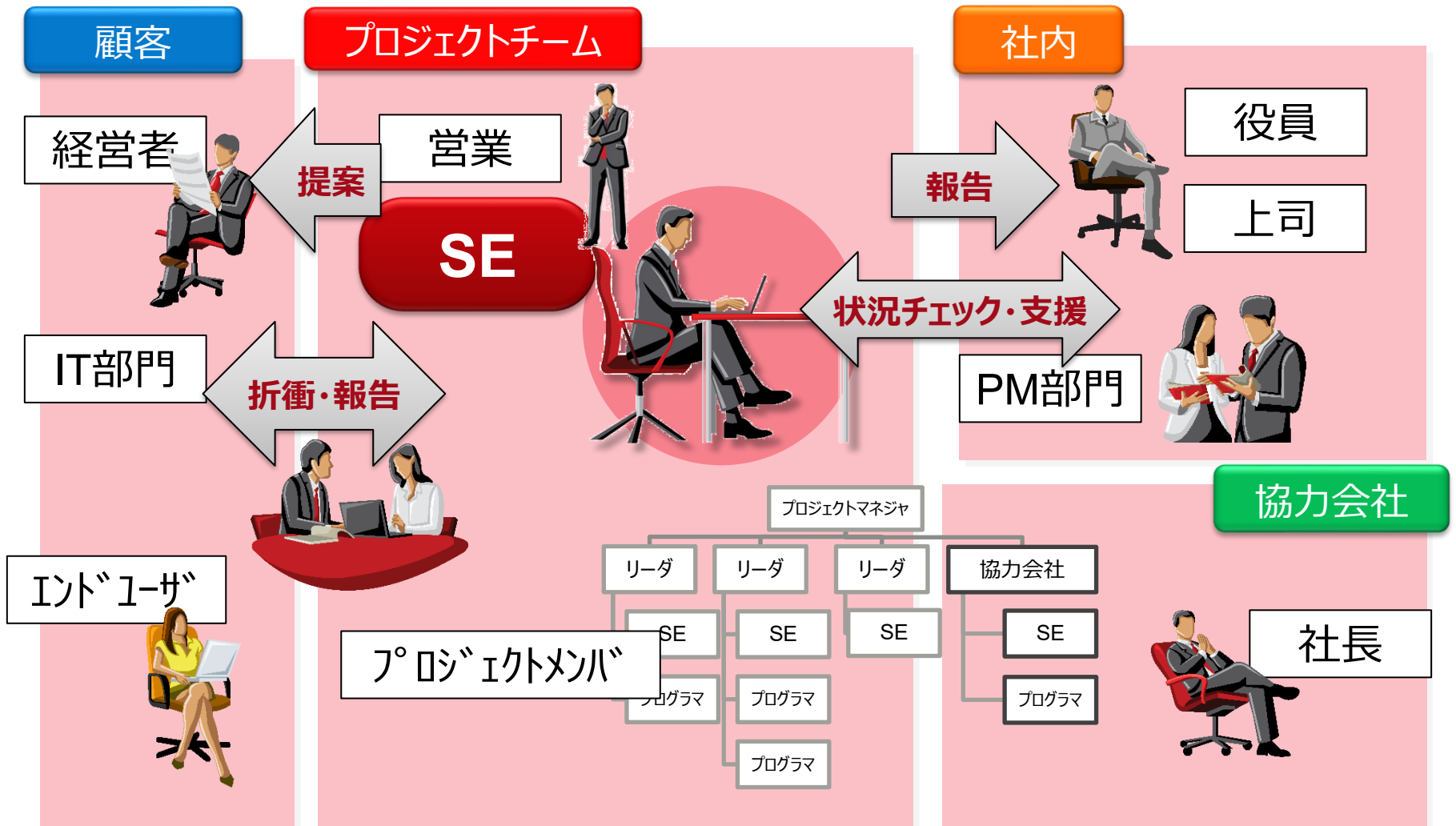
共通フレーム (SLCP)

SLCP: Software Life Cycle Process



業務システムに登場する人々

〇〇システム開発プロジェクト



プロジェクトの体制

〇〇プロジェクト体制図



顧客とは



提案
活動

受注

開発

納品
(本稼動)

運用・
保守

受注まで

- 業務要件確認
- 見積り
- 提案書作成
- プレゼンテーション

受注後

- プロジェクト計画説明
 - ・ マスタスケジュール
 - ・ 体制
 - ・ 役割分担
 - ・ 品質目標値設定

開発段階

- 作業進捗・品質状況
課題・障害発生、
対処状況の報告
- スケジュール調整
- 仕様変更調整
- 費用交渉

運用・保守

- 体制・費用
交渉

プロジェクト内では



提案
活動

受注

開発

納品
(本稼動)

運用・
保守

立ち上げ時

- プロジェクト計画作成
- キックオフ

開発段階

- 要件定義～運用テスト
- 日々の作業進捗、品質、発生コスト等の各チームへの状況把握
- 全体会議、各チーム毎の会議
- スケジュール遅延・品質改善対策立案、指示、確認
- 開発環境整備
- 開発メンバーの状態把握

開発終了後

- プロジェクトのまとめ
評価、報告
- 打ち上げ

社内では



受注まで

- 見積審査
- 商談審査

受注後

- 開発体制確保
- 体制構築・整備
- 外注申請
- プロジェクト計画説明

開発段階

- 作業進捗・品質状況・コスト管理状況の社内報告
- コスト悪化・品質悪化の場合は経営者まで報告
- 体制強化の場合には要員増員の社内交渉

開発終了後

- プロジェクト完了報告・発表
- 運用・保守体制構築

協力会社とは



プロジェクト立上げ時

- プロジェクト参画要請 (メンバ確保)
- 費用交渉

開発段階

- 作業進捗・品質状況の把握・確認
- 品質向上策依頼
- 要員増減、費用増減の依頼・交渉

開発終了後

- 運用・保守への参画要請
- 費用交渉

SEとプログラマのちがい

SE	プロジェクトマネジャー プロジェクトリーダー	プロジェクト運営 方針決定、全体状況把握、指示、 顧客折衝 など
	SE	見積り、要件定義、システム設計・ テスト、品質管理、進捗管理、コス ト管理、対策検討、グループ運営 など
プログラマ	上級プログラマ プログラマ	プログラム設計、プログラミング・テス ト

⇒ SEは、
業務知識、要件定義、システム設計・テスト以外に
マネジメント作業（品質管理、進捗管理、コスト管理他）
プロジェクト運営、顧客折衝、社内報告など、様々な作業
を行っている。

何故、プロジェクトマネジメントが
必要か？

富士山に登る場合を考えてみよう

- どこで休憩するの？
- 昼食はどこで食べるの？
- どのぐらいの速さで登るの？
- 途中で一人動けなくなったら…

2～3名で登る場合



50～100名で登る場合



何故プロジェクトマネジメントが必要か？

2~3名で登る場合

- どこで休憩するの？
- 昼食はどこで食べるの？
- どのぐらいの速さで登るの？
- 途中で一人動けなくなったら…



**すぐに話し合いができ、
行動できる**

何故プロジェクトマネジメントが必要か？

50～100名で登る場合

- どこで休憩するの？
- 昼食はどこで食べるの？
- どのぐらいの速さで登るの？
- 途中で一人動けなくなったら…

- **リーダーを決める**
- **登山計画を立てて、皆に配って説明**
- **途中、皆の状態を確認、次の判断**

マネジメント

何故プロジェクトマネジメントが必要か？

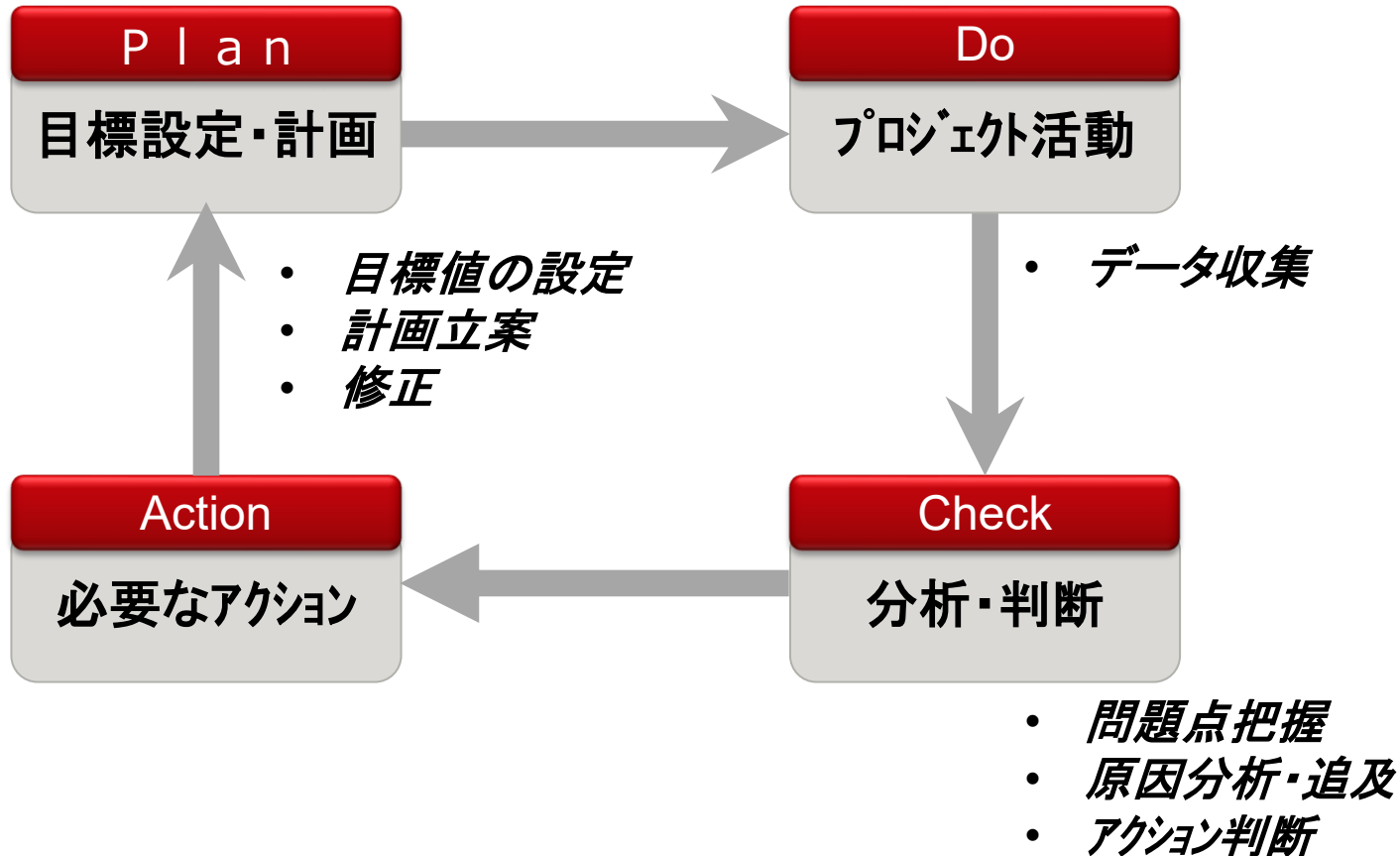
プロジェクトの目的

複数の人が係って、到達すべきゴールに向かって活動し、成功に導くこと！

そのためには

- ・リーダーを決める
- ・プロジェクトの方針、目標、活動計画を作る
- ・仕事のやり方、進め方を決める
- ・様々なルール、規則を決める
- ・それをメンバに伝え、全員に伝わるようにする
- ・仕事の進行状況を把握し、問題があれば対策を考え実施する
- ・当初計画と変更が生じた場合は、顧客と折衝、計画を修正する
- ・ゴールに到達したら、プロジェクト活動を振り返り、評価する

プロジェクトマネジメント



プロジェクトマネジメントはこのサイクルをまわすこと！

皆さんの周り、身近なことでも P D C A は行われている！

例えば

□ とんぼ祭を成功させるためには

- ・計画を立案、体制作り（〇〇実行委員会発足、□△グループ立上げ、、、）
- ・計画を実行する（資材調達、制作、委員会・グループ内調整など）
- ・当日の評価は？ 振り返り、打ち上げ

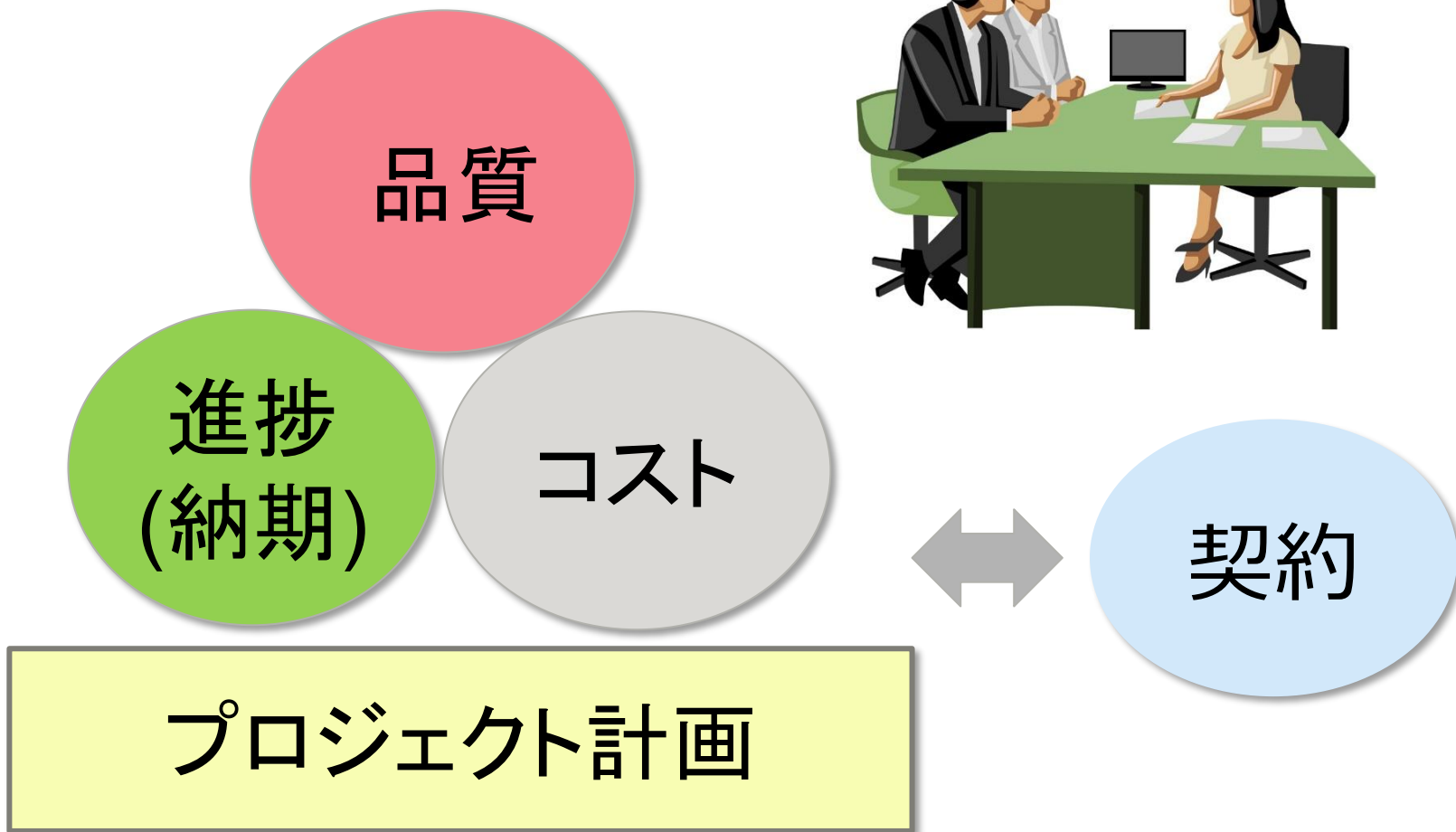
□ クラブ活動では

- ・一年間の活動計画、目標設定（県大会出場、全国大会優勝、、、など）
- ・計画に従って、準備、練習。思い通りの結果が出ていない場合は？
⇒ どこがまずかったのか？ 練習方法を変える、メンバー入れ替える など
- ・結果の評価、振り返り ⇒ 来年はこうしよう！ ここは良かった、ここは直そう！

□ 皆さんさんの高校生活でも

- ・3年間どんな高校生活を送るか？
—どの部活にはいる？ 将来どの方面に進みたい？ どの大学を受けるか？
- ・1年生、2年生、3年生では何をするか？
- ・目標を決めたら、その目標を達成するために頑張る
—毎日の勉強、部活、とんぼ祭、大学受験、

基本要素



プロジェクト件数とトラブル件数

A社

約400
プロジェクト

トラブルPJ
15~20

B社

約100
プロジェクト

トラブルPJ
4~5

大半のプロジェクトは**完遂**！
トラブルプロジェクトは約**5%**程度



プロジェクトのトラブル事例 1

(N社クレジットシステム再構築)

- トラブルの概要
- 何が問題だったのか？
- このプロジェクトで行った解決策とは？
- このプロジェクトで得た教訓

■ プロジェクトのトラブルとは？

<クレジット会社の新システム構築>

状況



・本稼働後にエラーが多発、業務が数日間停止状態

- ⇒ 売上傳票、入会審査、請求の処理が正しくできない
- ⇒ 提携会社へ渡すデータが正しくない（提携会社からのクレーム多発）
- ⇒ **クレジット会社倒産の危機？**

・システムが安定するまで約 3 ヶ月かかる

- ⇒ 1 日 2 交代制で仕様再確認・プログラム修正・テストの繰り返し

・当初の倍の要員を投入。**1 億円を超える赤字**

- ⇒ P J 全体では約 3 0 0 名がピーク時 5 0 0 ~ 6 0 0 名に。
当社は 3 5 名体制が 7 0 ~ 1 0 0 名に

■ プロジェクトのトラブルとは？

<クレジット会社の新システム構築>



原因

・設計が不十分！（顧客提示仕様は「**現行システム通り**」）

⇒ 現行と同じ仕様でやって、開発のプロだから任せたよ！

⇒ 仕様書、設計書が作成されていない機能・処理が多くある

・開発途中の進捗、品質の状態が把握されていない

⇒ 進捗の遅れ、進み具合を表す定量的な記録、スケジュール表等がない

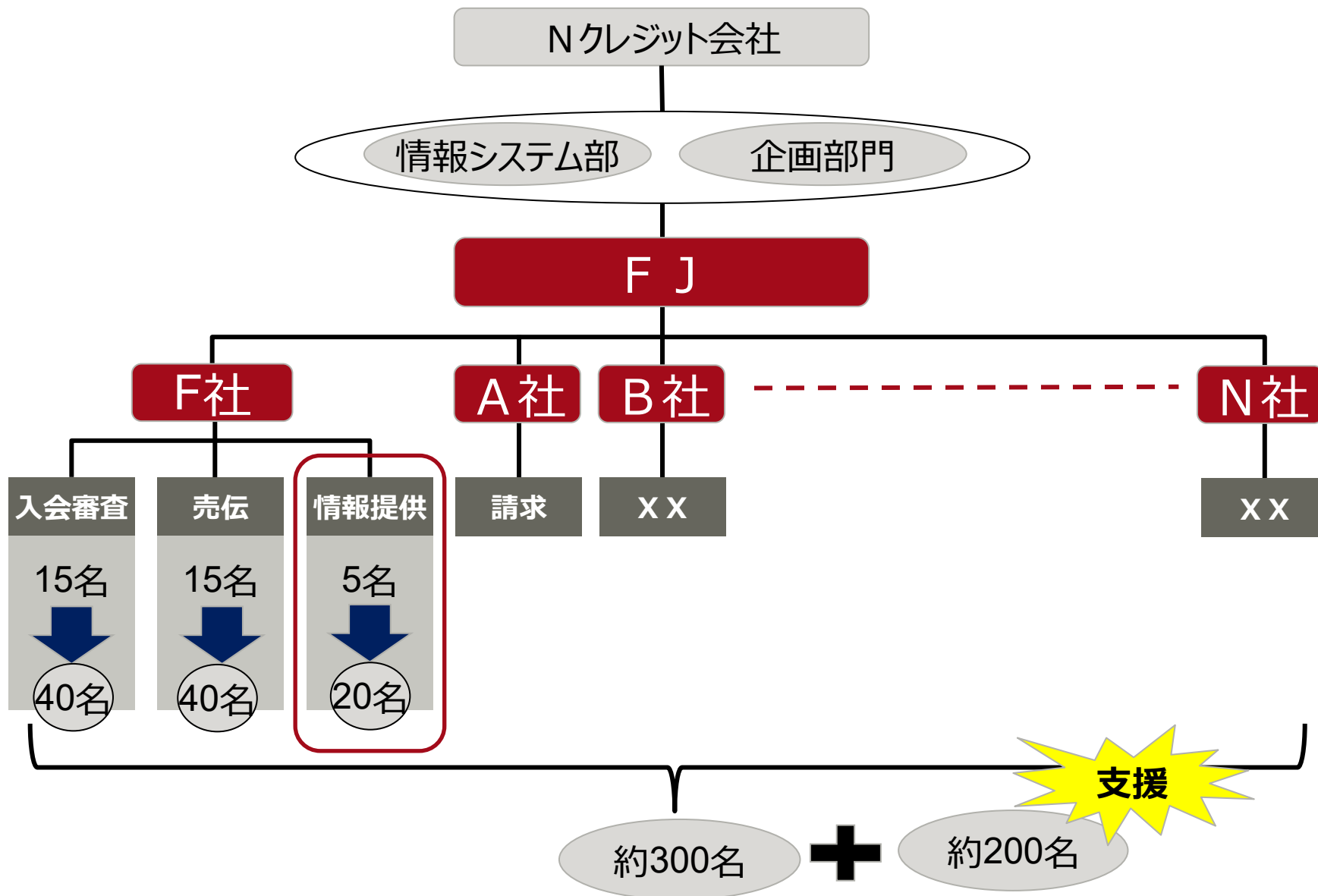
⇒ テスト仕様書・テスト結果は一部のみ。品質分析が十分にされていない

・顧客とのレビュー、承認があいまい

⇒ 仕様確定のための顧客レビュー、承認行為は一部のみ

⇒ 次工程へ進んでよいかの判定もされてないまま作業進行

プロジェクトの全体体制



トラブルの概要

売伝処理

- ・売上傳票処理が一部正しく行われたい
 - ・修正伝票処理しても結果が正しくない
- ➡ **請求処理へ結果を渡せない！**

入会審査

- ・親子の同時入会ができないケースがある
 - ・法人会員の入会ができない
- ➡ **新規会員の登録ができない！**

情報提供

- ・各種マスターの更新が正しくされない
 - ・請求データの値が正しくない
(前月と同じ請求結果、計算結果が誤り、)
 - ・提携先(約300社)よりクレームの電話が殺到！
- ➡ **提携先に処理結果を渡せない！**
- ➡ **提携先は業務ができない！**

本稼働後にトラブルが多発すると プロジェクトはどんな状況になるか？

各チーム内では、

- ・原因究明（調査、他にないか？）
- ・仕様確認、プログラム修正、テスト
- ・再処理（即時、翌日朝までに）

- ➡ 作業が同時併行で発生
- ➡ キーマンに作業負荷が集中

本稼働後にトラブルが多発すると プロジェクトはどんな状況になるか？

プロジェクト全体では

- ・会議（朝会、夕会など）、資料作成が多発
 - ➡原因、対策、修復見込などの資料作成
 - ➡PMやキーマンはこの作業に張り付き
- ・支援要員の作業割り当て、指示が必要
- ・作業者のローテーション決め、要員管理

何が問題だったか？

現行仕様通りにやって！

- ➡ 新たに詳細設計書を作成していない
- ➡ 仕様の確認、レビュー、承認を行っていない

テストケースの不足！

- ➡ テストケースの妥当性確認をしていない
(イレギュラーケースのテスト不足)

何が問題だったか？

開発途中の進捗、品質状況が？？

- ➔ 進捗がどれ位遅れているのか？？
品質が良いのか、悪いのか？？
定量的に表わしたドキュメントがない！！

メンバは全体の進捗、品質の状態、課題などを知らされていない！

実施した解決策

- 作業の優先順位づけ、作業負荷の平準化
 - ➡ ポストイットの活用、作業割り振り
- 各メンバーの作業内容の把握、作業指示
 - ➡ 各メンバーへのヒアリング、期限設定
- プロジェクト全体状況の伝達、見える化
 - ➡ 会議資料の貼り出し、閲覧
 - ➡ 朝会、夕会（10分以内での伝達、確認）
- 事前リハーサルの申し入れと環境確保
 - ➡ リハーサル環境確保、手順説明、リハーサル実施
- 作業場所の整理整頓

このプロジェクトで得た教訓

尚学塾2019

設計書、仕様書は**必ず作成し**、顧客の**レビュー**、**承認**を得て作業を進める

プロジェクト全体状況の**見える化**とメンバー全員での**共有**

テストケースの**妥当性確認**を必ず行う

各メンバーの**作業状況把握**と**的確な指示**

作業場所の**整理整頓**

プロジェクトのトラブル事例 2

(S市水道局新システム構築)

- トラブルの概要
- 何が問題だったのか？
- このプロジェクトで行った解決策とは？
- このプロジェクトで得た教訓

■ プロジェクトのトラブル事例 その2

<水道局の新システム開発>



状況(テスト工程)

- ・ P C画面の操作性能が悪く、業務ができない状態
- ・ 夜間処理が予定時間内に終了しない、結果をサーバに転送する際、転送ツールの性能が悪く、朝の業務開始に間にあわない
- ・ 支援要員を多数投入、**約5千万円の赤字**

原因

- ・ 見積は概算レベルのまま、性能設計がされていない
- ・ 進捗、品質の定量的把握がされていない
- ・ 顧客との要件レビュー、承認がないまま作業続行

システムの概要

S市水道局

検針員



検針データ

企画部門

業務センター 南

業務センター 北

窓口

F社 大阪センター

ホストコンピューター

各種マスター

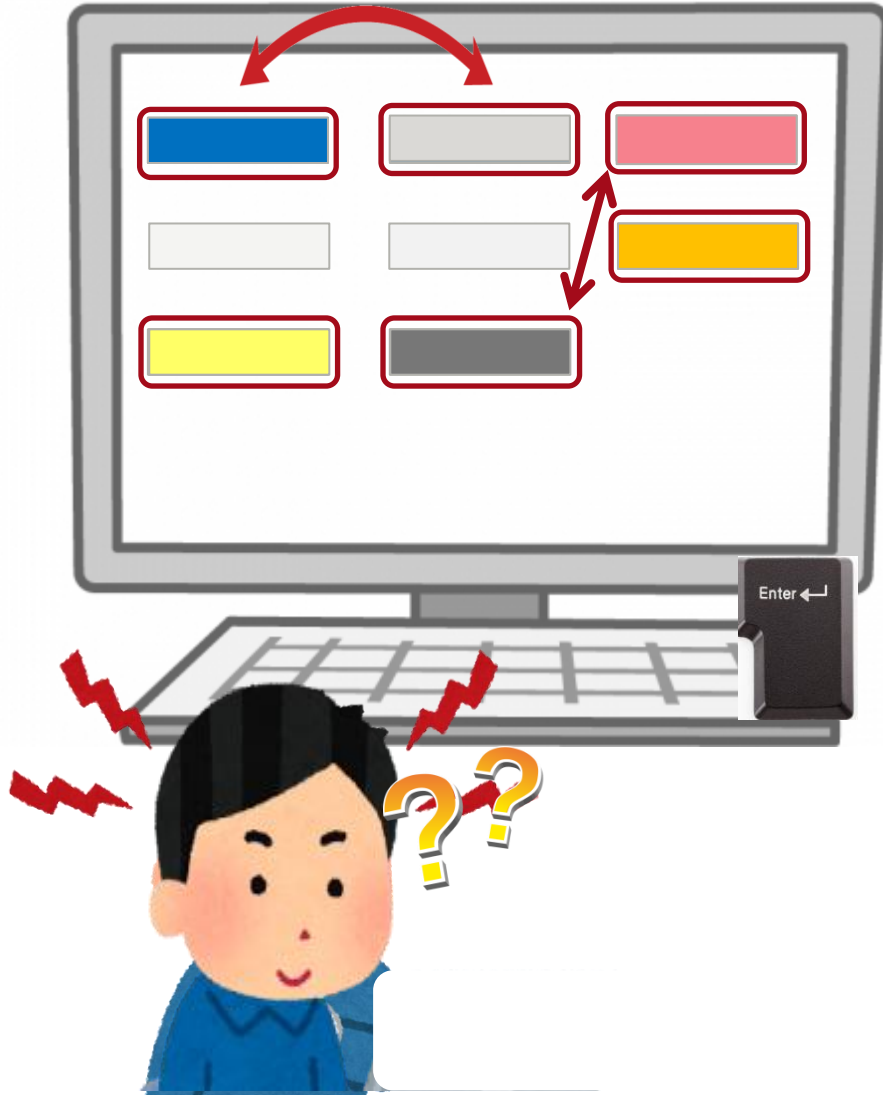
1日の処理データ

前日の処理結果データ

夜間バッチ処理

トラブルの内容（操作性、性能問題）

尚学塾2019



- ・各項目の位置を変えて欲しい
- ・色を変更して欲しい

現場からの要望多発!!!

ENTERキーを押しても
1つの処理をするのに
2~3分かかる

**4秒以内でないと
日常業務ができない!!!**

トラブルの内容(性能問題)

S市水道局

検針員



検針データ

企画部門

業務センター 南

業務センター 北



窓口



F社 大阪センター

ホストコンピューター

各種マスター

1日の処理データ

夜間バッチ処理

6~7AMまでに終わらない!!!

未データ

データ転送にかかる
1Hかかる

何が問題だったか？

F社は、

性能設計を省略してしまった！

➡ DBは毎回、全件READ

転送ツールの詳細仕様を分析しないまま採用！

➡ データ量と転送時間の関係を未調査

企画部門のみとの仕様確認！

何が問題だったか？

水道局は、

エンドユーザ部門の参画なし！

➡ 運用テスト段階で参画、要望多発！

開発状況をチェックする体制なし！

➡ 全て開発のプロであるF社にお任せ

➡ とにかく予算内で開発して欲しい

■ 性能設計できるSEの投入

➡ 本部長に直訴してSE2名を投入

■ 課題一覧の作成、水道局との折衝

➡ 要望・課題の見える化

➡ 作業完了見込、追加工数の明示

■ 転送ツール作成元への性能改善要求

➡ 性能要件の明示、重要顧客への対応要請

■ メンバ間での情報共有

➡ 朝会、夕会で現状課題、やるべきことの意識共有

■ 作業時間延長、休日・深夜の作業許可折衝

このプロジェクトで得た教訓

性能設計も重要なWBSの一つ！
(省略してはならない)

**現場部門の人を設計段階からプロジェクトに
参画させるべきである**
(設計段階で操作性などの仕様を反映すべき)

顧客と開発途中の状況を確認し合う場が必要
(**定例会・議事録**は必須である)

プロジェクト状況・課題をメンバー全員で共有

■ トラブル(失敗)の共通点

システム開発に関して

- ・見積り、要件・仕様があいまいのままスタート
- ・品質不良（エラーが多発、収束しない）
- ・性能問題（処理時間・レスポンス悪化）
- ・進捗の大幅遅れ（後工程圧迫、多数の要員投入）



プロジェクトに関して

- ・プロジェクトマネジメントがされていない
- ・コストが大幅に増大(赤字が発生)
- ・メンバが疲弊し、完了後の達成感が得られない
- ・開発当初から顧客の参画が十分でない(丸投げ状態)



■ プロジェクトの各メンバーの行動は？

○ プロジェクトマネジャー・リーダー

- ・プロジェクト計画を作成していない、作成していても全員に周知していない
- ・全体状況(進捗、品質、課題など) ができるもの(一覧) を作成していない
またメンバーにフィードバックしていない
- ・プロジェクトメンバーの状態を把握していない
⇒ 顔色、健康状態、出退勤の状態など
- ・進捗の遅れ、品質悪化、課題等に対する的確な指示を出していない



○ プロジェクトの各メンバー

- ・自分の作業状況を定量的に、正しく報告していない
- ・作業見通しについて「何故そうなるか」を説明できない
- ・課題・問題点に疑問を持たない、持っても発言しない



プロジェクトの成功事例

(T社損害保険新システム構築)

- プロジェクトの概要
- 何故成功したのか？
- このプロジェクトで得た教訓

プロジェクトの成功事例

■ プロジェクトの成功事例

< 損害保険会社の新システム構築 >

状況

- ・ 予定通り納期を守り本稼働、順調に業務開始
- ・ 本稼働後も大きなトラブル発生なし
- ・ 当初予算内で完了
- ・ 顧客から高い評価を得る、保守業務も依頼有り

原因

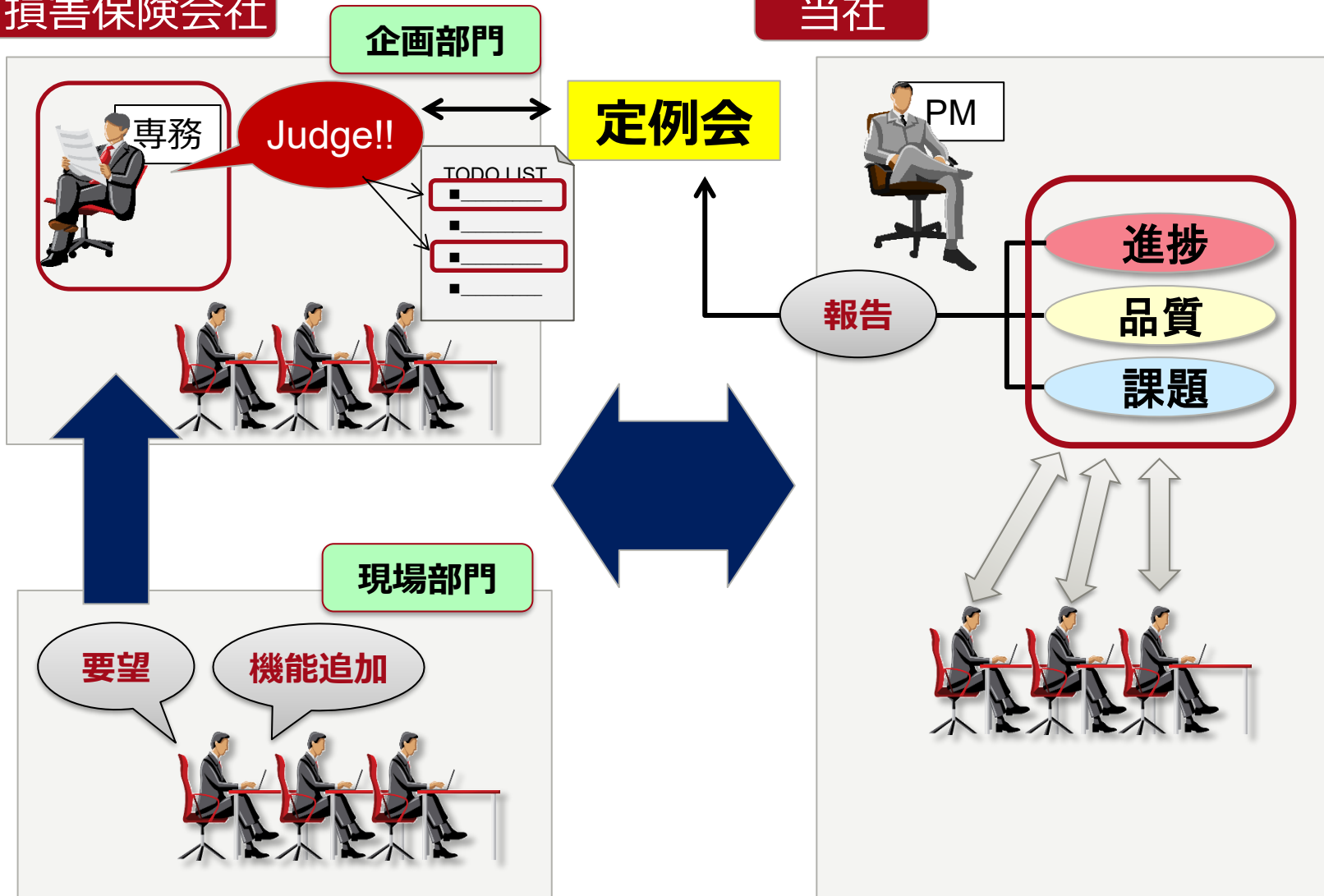
- ・ 設計段階で顧客と十分にレビューを実施
- ・ 品質が上流工程で確実に作り込まれ、テスト工程でもエラー除去
- ・ 顧客トップがスタート時から開発に深く係り、仕様の絞り込みなど迅速な指示を出してくれた



プロジェクト体制

T 損害保険会社

当社



何故成功したのか？

顧客と一体となった開発体制作り！

- ➡ プロジェクト責任者は顧客側のトップ
- ➡ 要望、仕様変更の実施可否は即断、即決

開発状況を定期的にチェック！

- ➡ 定例会を通じて、進捗・品質状況を確認、課題を共有し、対策を検討・実施

このプロジェクトで得た教訓

尚学塾2019

開発体制の重要さ！
顧客**トップ**がプロジェクトの責任者として自ら
プロジェクトを**けん引**してくれた！

定例会を通じて進捗、品質、課題を共有

顧客側が**要望**、**仕様変更**の可否を**コントロール**

各メンバーも全体状況を**認識**、自分の作業を
着実に実施

プロジェクトを成功させるためには

- 成功プロジェクトでは、
- プロジェクトを成功させるためには

■ 成功したと言える状態とは



- 納期を守り
- 品質が良好、確保されている（稼働後に大きな障害なし）
- 赤字を出さない



- 顧客から良い評価を得られた（よくやってくれた）
- プロジェクトメンバー全員に完遂したという達成感がある
- プロジェクトの評価・まとめをきちんと行い
次の開発に活かせる記録を残す



■ プロジェクト全体では



○ プロジェクトの統制がされており、結束力がある

- ・目標・目的が明確に示され、メンバー全員に浸透している
- ・開発途中の状況が定量化、可視化され、メンバー間で情報共有されている

○ プロジェクト計画がしっかり立てられ、プロジェクト運営がきちんとして行われている

○ コミュニケーションが良好である

- ・自由に意見が言える、意見を聞いてもらえる雰囲気

成功プロジェクトでは

■ プロジェクトの各メンバーの行動は？

○ プロジェクトマネジャー・リーダー

- ・顧客を巻き込み、一体となった開発体制を作っている
- ・計画書に基づき、方針、目標などをプロジェクト全体で共有している
- ・要求の変更、仕様の変更に対し、きめ細かい折衝・費用交渉を行っている
- ・進行途中の状況をメンバーにフィードバックしている
- ・メンバーの発言に耳を傾け、課題・問題点に対し迅速・的確に指示を出し、フォローアップしている
- ・プロジェクト内のコミュニケーションを良くする雰囲気作りをしている ⇒「飲み会」「スポーツイベント」の企画など



○ プロジェクトの各メンバー

- ・プロジェクトルールを守り、作業状況を正しく報告している
- ・問題点・課題を意識し、積極的に報告・連絡・相談をしている
- ・まわりのメンバーと会話し、コミュニケーションがとれている



プロジェクトを成功させるためには？

■ 成功させるためのポイント



○ 要件・仕様を明確にする

- ・ドキュメント化し、顧客とのレビューにより承認を得て作業を進める
⇒「現行システム通り」というようなあいまいな状態で作業を進めない

○ 設計工程で品質を作り込む

- ・レビューによる品質の作り込みを設計段階でしっかり行う

○ 作業状況を可視化し、対策が打てる状態にする

- ・進捗の遅れを定量的に把握する
- ・品質を定量的に把握する
- ・コストの増減を把握する

SEのやりがいとは？

最近では、3Kの職種の一つとも言われているが、

システムが人々の**生活**や**仕事**の役に
立っていることを**実感**したとき！

困難なことも多いが、**やり遂げた時の
達成感**！

顧客、相手から**信頼**されること！

社会人として仕事を続けていく上で 大切なこと

SEに求められるものは？



期待されるSE像とは



SEに求められるものは？

技術力

- 業務知識、設計、プログラミング
- ドキュメント力（設計書、スケジュール、報告書）



実行力

- 決められた事を予定通り、きちんとやり遂げる

向上心、忍耐力

- 指示を待つだけでなく、自分から問題点・課題を見付け、提案、工夫する
- 困難な状況でも常に積極的に、最後まであきらめないでやり抜く姿勢

コミュニケーション力

- まわりの人とコミュニケーションがとれる、会話できる

SEに求められるものは？

だけどこれって、SEだけの話？

技術力

- ・業務知識、設計、プログラミング
- ・ドキュメント力（設計書、スケジュール、報告書）

実行力

- ・決められた事を予定通り、きちんとやり遂げる

向上心、忍耐力

- ・指示を待つだけでなく、自分から問題点・課題を見付け、提案、工夫する
- ・困難な状況でも常に積極的に、最後まであきらめないでやり抜く姿勢

コミュニケーション力

- ・まわりの人とコミュニケーションがとれる、会話できる



人生、思い通りにいかないことの方が多いが、

□ 就職、仕事を決める

- ・希望した会社には入れなかった、仕方なく就職した
- ・希望した会社に入ったが、希望する部署には配属されなかった

□ 会社に入ってから

- ・いい上司や部下に恵まれるとは限らない
- ・自分の思っていたとおりに評価してもらえないとは限らない
⇒ 何故○○さんより私の評価は低いの？納得できない！

□ でも時々いいこともある

- ・今度の上司、部下は気が合いそう（組織や環境は常に変化する）
- ・今まで怒られてばかりだったが、最後は褒めてもらった

やがて社会人になる皆さんへ伝えたいこと！

□ 向上心、好奇心、忍耐力

- ・もっと工夫・改善できないか？
- ・興味を持つ、新しいことにも挑戦してみる！
- ・すぐに成果がでなくても暫く我慢して続けてみる、諦めないでやり続ける

□ コミュニケーションをとる、協調してやる

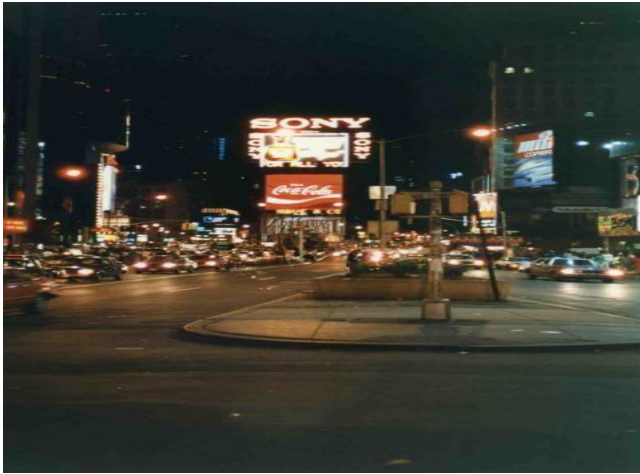
- ・多くの仕事は自分一人だけではできない、必ず何人かとやる事になる
- ・相手、仲間と意思疎通を図り、協調しながらやることが大事
- ・自分の考えを伝える、相手の言うことを聞く

□ 健康（心身ともに）

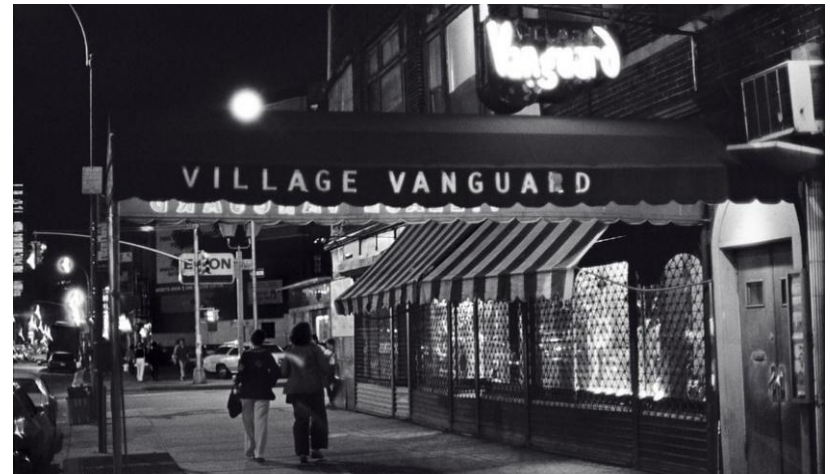
- ・まず第一に健康であること
- ・体力、気力（精神力）は仕事の源である
- ・息抜き、気分転換、リラックスすることも必要

最後に、アメリカ大陸放浪の旅の お話を少し

冊子(放浪記)もご参照下さい！



【当時のN.Y. タイムズスクエア】



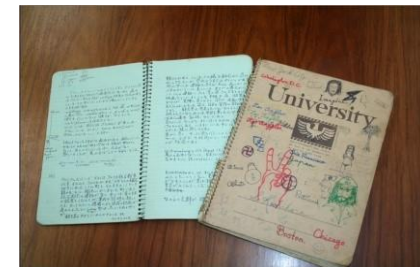
【N.Y. Jazz ライブハウス VILLAGE VANGUARD】



【3ヶ月フリーパス】



【グレイハウンド バス】



【当時の日記ノート】



【メキシコの旅ルート】



【インカ帝国の遺跡 チチェンイツツア】



【メキシコ CITYにて】



【ローズマリー(中学生?)】



【調査団メンバーと F.M.ホテル前で】



【フェアモントホテル玄関前で】



【25年前追い払われたロビーで】



【会議を抜け出してヨセミテ公園へ】



【1WCQSの参加証】

放浪の旅を通して感じたこと！

□まずやってみる（チャレンジ）

- ・不安はあってもトライしてみる
- ・最初はうまくいなくてもやる気持ちがあれば何とかできるもの
- ・ダメならば再トライすればよい

□自分の目で見て判断する、感じる

- ・アメリカという国の豊かさ、寛容さ
- ・南部の黒人から受けた生きる力・強さ
- ・メキシコ人の陽気さ、何とかなるさ、世の中には色々な人がいる！

□もっと日本のこと、身近なことを知らなくては

- ・大学に戻ったら勉強して、ちゃんと卒業しよう
- ・今まで知らなかった日本のこと、身近なことを説明できるようになろう
- ・語学力よりも大事なことは、話の中身、伝えようとする気持ち・意識

皆さんの高校生活が
有意義な 3 年間である
ことを祈念しています！

ご清聴有難うございました！